ビブリオバトルの授業を創ろう！～徳島大学附属図書館の事例～

徳島大学附属図書館　佐々木奈三江

徳島のビブリオバトル事情

2010年11月	図書館のラーニング・コモンズ活性化等を目的として「ライブラリー・ワークショップ」（以下LW）設置
2011年5月～	LWで本の紹介イベント「私のオススメの一冊」開催
2012年12月	共通教育講義の番外編で宮城教育大学の吉植庄栄氏を招聘，ビブリオバトルと具森義仁さんに出会う
2013年3月11日	阿波ビブリオバトルサポーター誕生
2013年6月23日	ビブリオバトルin徳島大会開催
2013年11月24日	ビブリオバトル首都決戦出場
2014年4月～	「読書コミュニケーションへのいざない」開講

「ビブリオバトル授業開講の経緯

「ビブリオバトル」をやる授業をやりたい！

- もともとは別の授業でイベント的にビブリオバトルを実施
  → ビブリオバトルの教育的効果に注目
    - ➢ 本を読む機会の創出
    - ➢ 本を読み解く力
    - ➢ プレゼン能力育成
    - ➢ ビブリオバトルイベントを行うことで社会人基礎力を養成
- 徳島大学でビブリオバトルを広めたい
  → 教員連携・学生協働で開講

読書コミュニケーションへのいざない」とは

特徴　その1
教職員同士のコラボレーション

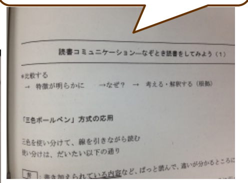
ドイツ文学・分子進化発生生物学・日本近現代文学の教員と，図書館職員が一堂に会して授業を行う。
→読書を切り口に，多様な研究手法に触れる

特徴　その2
ビブリオバトル実践（5回）

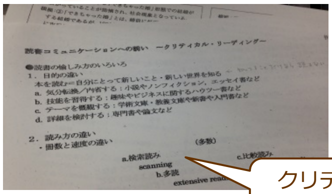
ビブリオバトルへの抵抗感をなくすため，徐々に慣れれるようなプログラムを組む。
あわせてモチベーションアップのため，「ビブリオバトルカード」を導入。

徳島大学の1・2年生向け授業「全学共通教育」のカリキュラムのうち「社会形成科目群・共創型学習」として開講しました。

カフェで読書会（ドイツ文学）



なぞとき読書（日本近現代文学）



クリティカル・リーディング（分子進化発生生物学）

① 阿波ビブリオバトルサポーターによるデモ
② ブクログで書評を書いてビブバト
③ 好きな本でビブバト
④ テーマ「旅」でビブバト
⑤ 阿波ビブリオバトルサポーターと対決！

成果と課題

＜成果＞

ビブリオバトル活性化

- 受講生が全国大学ビブリオバトル予選に挑戦
- 受講生が阿波ビブリオバトルサポーターに加入
- 教員，職員，学生との交流が生まれる
- 新しい本との出会い

＜課題＞

授業のねらい
「大学生活の中に<u>読書活動を習慣化</u>し，読書を通した人との出会いによって読書のコミュニケーションを構築していくこと，多様な本との出会いにより<u>教養を深め，多様な価値観にふれること</u>」

⇩

下線部は達成できたか？
効果検証の仕組みが必要だった。